

実施期間  
2021-2023

実用化開発場所  
南相馬市、北海道、千葉県

連携自治体  
南相馬市

インターステラテクノロジズ株式会社

# 宇宙産業の拡大に必要な低コストの小型衛星打上ロケットの実証を行う

近年急速に需要が高まっている小型衛星打上用ロケットに欠かせない要素技術の開発を行い、小型・低価格で高頻度に打上げ可能なロケットを実用化します。本計画では、ロケットの主構造や分離機構、制御コンピュータ等の重要部品を開発します。



代表取締役 CEO  
稲川 貴大

開発背景

宇宙産業市場は2040年までに現在の約3倍の120兆円まで成長すると予測されています。これらの成長を支えるのは人工衛星によるものであり、本事業で開発を行う小型衛星ロケットを高頻度で打ち上げることで、宇宙産業のさらなる発展を図ります。

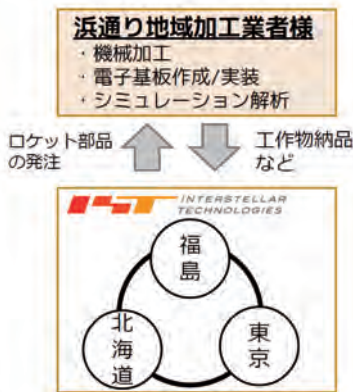
実用化開発の目標

実用化時期	令和5年度（2023年度）
販売製品・サービス名	超小型衛星打上ロケット「ZERO」
成果物（最終年度）	超小型衛星打上ロケット「ZERO」の打上実証
創出される経済効果	南相馬市を中心とした浜通り地域のロケット部品サプライチェーンの構築

開発のポイント

要素技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽量で安価なロケット構造</li> <li>推進剤タンク製造技術</li> <li>民生品を活用した機構部品の開発技術</li> <li>民生品を活用したロケット搭載用アピオニクス技術</li> </ul>
開発のポイント	これまで宇宙用として使用されていた製品・部品だけではなく、民生品の活用・新しい製造技術の導入により、低コストな小型ロケットを実現することが可能です。

※アピオニクス=航空用電子工学



浜通り復興に向けたメッセージ

浜通り地域にある既存の航空宇宙産業の基盤を元に、日本を支える宇宙産業を築いていきたいと考えております。皆様と一緒に宇宙産業を盛り上げていければ幸いです。

浜通り地域への経済波及効果

雇用数	実績	16名（うち、地元雇用0名）
	今後の予定	50名以上（うち、地元雇用5名以上）
拠点立地件数（立地場所）		1件（南相馬市）
地元企業との連携	R&D・開発	浜通り地域内に試作品の設計・製造を依頼
	資材調達	拠点整備物品・材料等を地元企業2社より調達
	製造	地元企業18社と研究開発における協力体制を協議中（地元企業とのマッチングイベントを2021年11月に実施）
	販路開拓	「みんなのロケットパートナーズ」や「ロケットの機体スポンサー」等を紹介中

これまでに得られた成果

成果品・試作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>試作型フェアリング（ロケットの先端部分の分離箇所）・分離機構の設計検討</li> <li>民生品を活用した試作型高信頼性アピオニクス</li> </ul>
知的財産権	—
開発技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>量産を見据えたタンク溶接技術の検討</li> <li>試作型フェアリング（ロケットの先端部分の分離箇所）・分離機構の設計検討</li> <li>民生品を活用した試作型高信頼性アピオニクス</li> </ul>
自治体との連携実績	南相馬市
代表的な企業との連携実績	シリーズDラウンドにて、藤田誠氏（INCLUSIVE(株)代表取締役社長）、(株)サイバーエージェント等から総額17.7億円を調達し、開発を加速させています
メディア露出や受賞歴	10月～12月現在に574記事の掲載 テレビ取材等多数（News Every等）

連絡先

インターステラテクノロジズ株式会社 |  
福島県南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-245  
南相馬市産業創造センター 工場区画3  
☎ 01558-7-7330 (担当: 植松千春)  
✉ info@istellartech.com



投資規模	10億円以上	開発人数	50名以上
販売時期	令和6年度（2024年度）		
販売形態	小型衛星打上サービスの提供		
販売見込先	5社（2023年度末の初号機打上げから2～3年内を目処に、衛星サービス事業者を中心とした宇宙関係企業向けを想定）		
協業希望先	衛星メーカー、衛星を用いた事業を検討する企業		